

「睡眠関連製品開発支援事業」を開始！

福岡バイオコミュニティ推進会議と久留米大学が共同記者会見

同日の夜は「秋の睡眠の日」久留米市内 6 か所でライトアップ

「福岡バイオコミュニティ推進会議(福岡 BC)※¹」は、新規事業である「睡眠関連製品開発支援事業」を久留米大学と開始するにあたり、共同記者会見を開催します。久留米大学と連携し、プラットフォーム「Kurume Sleep & Healthcare Innovation Platform(K-SHIP)※²」をとおして、睡眠関連 製品・サービスの開発を支援します。

国内有数の睡眠研究実績を有する久留米大学との睡眠に関する初の連携事業です。

また、会見が行われる9月3日は「秋の睡眠の日」でもあり、久留米市内の6か所で、夜にブルーのライトアップ※³が行われます。

<記者会見内容>

1 日時 令和8年9月3日(木) 14:00~15:30 (13:30 から受付、カメラセッティング可能)

2 場所 久留米大学 医学部看護学科・医療検査学科 2号館 4階 会議室4
(福岡県久留米市東櫛原町777-1) ※ 記者会見会場・駐車場地図は、別紙参照

3 登壇者(予定)

- 久留米大学 理事長・学長 うちむら なおひさ 内村 直尚
- 福岡BC事務局 (株)久留米リサーチ・パーク 代表取締役社長 しぎょう けんじ 執行 謙二
- 久留米市長 はらぐち しんご 原口 新五
- 福岡県 商工部 先端技術産業振興課 企画監 おくはら じゅん 奥原 淳

4 記者会見内容

(1) 共同記者会見(14:00~14:40)

- ① 『睡眠関連製品開発支援事業』説明 (執行社長)
- ② 『睡眠の重要性について』及び『睡眠の日(9月3日)について』 (内村理事長)
- ③ 登壇者からの挨拶(事業への期待・抱負等)
- ④ 質疑応答

(2) スリープラボ※⁴の見学(14:40~15:10)

- ① スリープラボの説明
- ② スリープラボの測定実演 等

※ 見学終了後は、個別取材対応を行う予定です。

5 問い合わせ先

【会見に関すること】 福岡BC推進会議事務局 (株)久留米リサーチ・パーク 丸林、藤田
TEL: 0942-37-6124 FAX: 0942-37-6367

【会場に関すること】 久留米大学研究推進戦略センター 松尾
TEL: 0942-31-7916 FAX: 0942-31-7918

★報道機関の皆様へ

取材にお越しいただける場合は、福岡 BC 推進会議事務局(上記「5 問い合わせ先」)へ事前にご連絡ください。

【参考】

(※1) 福岡バイオコミュニティ推進会議（ホームページ <https://www.fbv.fukuoka.jp/>）

- 福岡県と久留米市は、久留米地域を中心としたバイオ関連企業や研究機関の集積を目指し、平成13年度に産学官で構成する「福岡県バイオ産業拠点推進会議」（事務局：（株）久留米リサーチ・パーク）を設立。令和3年6月に内閣府の「地域バイオコミュニティ」第1号に認定。認定を契機に、「福岡バイオコミュニティ推進会議」（事務局：（株）久留米リサーチ・パーク）と名称を改め、研究開発支援、投資環境の整備、人材育成・人材確保等の新たな取組を行い、バイオコミュニティの形成を目指している。



福岡BC
ホームページ

(※2) Kurume Sleep & Healthcare Innovation Platform (K-SHIP: ケーシップ)

- 福岡BCと久留米大学が連携して「睡眠関連製品開発支援事業」を行うプラットフォーム。
- 久留米大学が有する睡眠分野の研究・臨床資源を活用し、企業等のアイデアや課題に対して、相談、研究・試験設計、睡眠測定、データ解析、エビデンス構築等を一体的に支援する。
- K-SHIPを通じて、睡眠産業の拠点化、県内・久留米地域の睡眠関連製品開発企業の成長・集積を目指す。

(※3) 秋の睡眠の日（ブルーのライトアップ）

- 睡眠不足は、生活習慣病・うつ病・認知症・労働生産性の低下など、様々な健康被害・社会的損失につながる事が科学的に示されている中、日本人の睡眠時間は先進国の中で最短水準にあり、慢性的な睡眠不足が国民の健康を脅かしている。
- 日本睡眠協会は、春（3月18日）と秋（9月3日）の年2回、「睡眠の日」を制定し、これまでは、国民一人ひとりが睡眠について考え、健康的な睡眠習慣を実践するきっかけとなることを目的として「春の睡眠の日特別セミナー」や「ふくおか睡眠フェア」を開催。
- 令和8年9月3日（木）には、ライトアップを実施する事で睡眠に対する国民の意識向上および健康増進に貢献していきたいと考えている。

項目	内容
イベント名	「秋の睡眠の日」ライトアップ
実施日	令和8年9月3日（木）
点灯時間	19時～22時（3時間）
テーマカラー	スカイブルー（目覚めの爽快感をイメージ）
点灯場所	久留米大学病院（西側モニュメント）、聖マリア病院、久留米市役所、石橋文化センター、カトリック久留米教会、ホテルマリタール・創世 久留米

(※4) スリープラボ

- 久留米大学が有する睡眠に関する研究施設のことで、令和6年4月に医療検査学科が新設されるのと併せて設置された。
- 大学にスリープラボが設置されるのは全国初で、睡眠時の脳波や眼球運動、筋電図などを計測する「睡眠ポリグラフ検査」や、眠りの深さや量の計測、不眠症や睡眠時無呼吸症候群などの病気の有無を判別できる。加えて、日中に強い眠気が続き、生活に支障が出る過眠症の検査なども可能。
- スリープラボには、正確なデータを集めるため、外部の電磁波を遮断する防音仕様の「シールドルーム」を2部屋設置。脳波計やカメラ、マイクなどを備え、受検者の睡眠中の脳波や筋電図などのデータを医師らが室外から確認できる。映像やいびきなどから病気の有無を診断することもできる。



スリープラボ検査の様子

【別紙】 9月3日共同記者会見会場・駐車場地図(久留米大学 旭町キャンパス)

